

ミナミハンドウイルカの個体識別調査結果（2020年）

今号では、2020年におけるミナミハンドウイルカ個体識別調査の結果をご報告します。2020年は、嫁島周辺海域2回、父島周辺海域25回、母島周辺海域3回の調査を行い、皆様からご提供いただいたデータと合わせて、のべ90個体を識別しました。2020年に新たに識別されたのは11個体で、これまでののべ識別個体数は281頭となりました。

また、嫁島海域で白い体をしたミナミハンドウイルカの子どもが観察されたり（イルカ通信No.96参照）、ハシナギイルカの子どもを連れている「養子取り」行動が観察されたりと（イルカ通信No.98参照）、話題も多岐にわたりました。貴重な情報をご提供くださった皆様に、改めて御礼申し上げます。

#319

ニックネーム
しずく

メス・Sub-Adult



顔の右



顔の左

最も出会えたイルカ

初確認は2014年。父島列島海域でのみ確認されています。左側の口元にある白斑と、顔の右側にある“しずく”が流れたような黒い傷が識別のポイント。まだ若い個体で、出産履歴はありません。

#19

ニックネーム
スポッティー

メス・Adult



以前の顔



2020年の顔

特徴が新たに増えたイルカ

初確認は2003年。父島列島海域でのみ確認されています。2020年に入って、左目の周りに「10」のような形をした白斑ができていたのを確認しました。遠くからでも目立ちます。

クジラの陸上観察会のお知らせ



ザトウクジラの来遊シーズン中、おがさわら丸の入港日の夕方、父島のウェザーステーション展望台と母島の鯨ヶ崎展望台にて「クジラの陸上観察会」を実施予定です。ご興味のある方、ご参加お待ちしております。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、予定が変更となる場合がございます。最新の情報に関しましては、OWA及び小笠原母島観光協会HPをご確認ください。

【父島】

場所：ウェザーステーション展望台

日程：2/8以降のおがさわら丸入港日～4月上旬を予定。新型コロナウイルス感染拡大の影響により変更となる場合あり。詳細はOWAのHPをご覧ください。

時間：16時～17時



【母島】

場所：鯨ヶ崎展望台

日程：2月～3月中のおがさわら丸入港日を予定。新型コロナウイルス感染拡大の影響により変更となる場合あり。詳細は小笠原母島観光協会のHPをご覧ください。

時間：16時30分～日没

※どちらも参加無料。天候・海況不良の場合は中止。※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況次第では中止。